

婦人画報

婦人画報110周年記念
特設ウェブサイト
Fujingaho.jp
OPEN!
1905-2015
FUJINGAHO
110 YEARS & BEYOND



7 July 2015
No.1344

今誇ろう!
メイド・バイ!
ジャパニーズ

1905年発刊の
「婦人画報」
創刊号を
完全復刻しました!

創刊110周年記念特別号
特集

世界へ

手仕事

日本の

超モダン
「手仕事カタログ」全110点



連載ワンスを通して
高円宮妃久子殿下

特集 日本 の

Kurage

岐阜県飛騨高山市 清水丈雄

2015年、ミラノデザインウィークの会場で注目を浴びた、ひのき材の灯りKurageだ。素材を1ミリ以下に加工する、日本の職人の高度な木工技術が、イタリアのデザイナーとタッグを組むことにより、有機的かつ新たな形となった。「再生」を経て日本の手仕事の世界へ羽ばたいていくことを象徴的に物語る作品。



01

五重のひのき材、この手仕事
Kurage Light No.

飛騨高山に伝わる木工家具作りの
伝統な技術はそのままに、温かみ
のある愛らしいデザインへと昇華。
Kurage (K51) φ40 × H60cm
72,000円

手仕事、

かごを手にしてかわいい！ 九谷焼の手塩皿を集めて楽しい！

ミラノやパリの展示会場で、そんな歓声上がる2015年春。

日本の手仕事はいま、技の確かさに加え、デザインの力を借りて海を越え、
新たなステージへ。その背景にある、手仕事再生の物語を追います。

大モチです！
日本の職人技



ピンクからイエローの美しいグラデー
ションの灯りを投げかけるKurage。デ
ザイン感度の高い、ミラノ・ブレラ地
区の仕人が思わず足を止める。ハンズ
オンデザインの会場にて(詳細は次頁)。

世界へ

本業につながる、この手仕事
Handmade List No. **03**

Bibai(ワインクーラー)、
Kotori(ピッチャー・ジャグ)
滋賀県大津市 中川 匠士

伝統の桶作りの技術を生かしたテ
ープルウェアなどを発表。可動性
の高い取っ手は新たな試みだった。
右から順に、Bibai(ビバイ)
φ16.7×H14.6 / 22.7cm 90,000
円 Kotori(コトリ) L(φ9.8×
H24cm) 56,000円 S(φ8.8
×H19cm) 47,000円



ずっと手に取りやすいデザインは、も
はや伝統工芸を超えた!? ワインク
ーラーやピッチャーなら世界的に需要
があるとデザイン。新たな用途が話題に。

本業につながる、この手仕事
Handmade List No. **04**

Quadro(カラーろうそく)
滋賀県高島市 柳原 孝久(たけひさ)

100パーセント植物性の蠟を使用
した、環境にやさしいろうそく。サ
イズ、彫色など、すべて新たな試み。
Quadro(クアドロ) 大(W1.8×
D2.1×H10.1cm) 大6個セッ
ト 6,600円



ミラノデザインウィークは、ミラノサ
ローネ(国際家具見本市)にあわせ、
ミラノ市内のギャラリーなどで約1週間
にわたり実施されるデザインの祭典。



本業につながる、この手仕事
Handmade List No. **02**

Gassan
(センターベース)、
Tateyama
(センターベース/桶)
滋賀県大津市 藤合 芝地

木と漆のイメージを変えるため
に、センターベースとして新鮮な
趣にし、高い汎用性を付加した。
Gassan(ガッサン) φ21×H7cm
36,000円
Tateyama(タテヤマ) φ14.5×
H11cm 21,000円



ブレラ美術館のすぐ裏手にあるブレラ
地区の一角が会場となり、作り手と美
材の話に耳を傾けたいという、感度の
高いゲストがたくさん足を運んだ。



上/デザインの異なる、さまざまな和
ろうそくがアクリルのショーケース
に。左/日本人がデザインし、イタリ
アの職人が作った皿やグラスも展示。



中川 匠士さんは、京都の工房の3代
目。「手仕事は時間がかかるが、もの
づくりの真髄がそこにはある。その情
懷をデザインの手で伝えたい。」



この手仕事には、ここで出合えます
草庭(くさにあ) 滋賀県大津市大物731-1
☎077-592-2400
chig@gass-garden.com http://www.
handsondesign.it/shop(日本語対応)

手仕事を廃れさせないために、
ミラノで発表された新企画

2015年4月に開催されたミラ
ノデザインウィーク。ミラノ市内の
各所で、世界各国のさまざまな家具
や日用品が発表されるなか、注目を
集めた日本の手仕事がありました。
とりわけ反響が大きかったのは、P
52の照明のほか、このページで紹介
した、ワインクーラーや和ろうそく、
漆器のセンターベースなど、手仕事
の温もりを残しながらも、モダンさ
やカラフルさを取り入れた作品です。
日本の伝統工芸に端を発し、イタリ
アの人々のライフスタイルに取り入
られるようデザインされたこれら
の作品は、「ハンズオンデザイン」と
名付けられたプロジェクトの一環で
誕生したものです。このプロジェクトは、
日本とイタリアのデザイナーと職人
が、それぞれチームを作りさまざま
な日用品を製作して「こうとする動
きです。デザイン優先ではなく、使
い手目線に立ち、世界中で売れるも
のを目指す。そんな新しい動きが、
ここミラノで数多くの熱い視線を集
めたのです。」

2015年4月。ミラノデザインウィーク
注目されたHands on Designの手仕事とは?

in Milano